

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	利用者への支援を日々振り返りながら、具体的にケアにつながる理念の実践の取り組みを強化	ミーティングでの振り返りとケアでの実践が行われているが、さらなる質の向上を目指す	①研修・勉強会への参加を強化することにより、ミーティングなどで質の高い意見や介護技術の向上により利用者にも心身の負担の無い支援を行えるようにする	12ヶ月
2	4	運営推進会議において家族や民生委員等の参加が少なく、目標達成計画を議題としておらず、家族への議事録の送付を行っていない	家族や民生委員等の声掛けは行っているが、実際の会への参加はメンバーが限定的であることが多い 目標達成計画を議題として討議し、家族へ議事録の送付を行う	①外部からの参加をしてもらうために声掛けの強化 ②運営推進会議で目標達成計画を議題として取り上げる ③議事録を家族へ送付する	12ヶ月
3	5	運営推進会議において、全町村担当者に参加依頼しているが、半分の町村担当者の出席で終わることが大半で、土佐町以外の町村とは日頃の連携の機会が少ない	大川村以外の連絡は取れていたと思われるが、日程調整等でも、年間を通して参加してもらえるよう今後も声掛けを強化する	①声掛けの強化 ②催事など会以外の時でも参加の声掛けをする	12ヶ月
4	10	高齢や遠方の家族が多いといった事情で家族会の開催ができていない	花みずき便りにも毎月掲載し、特に多くの家族が参加しやすい夕涼み会、敬老会に呼びかけをする。	①面会時や催事に参加されたときなどの声掛けを頻回にする	12ヶ月
5	23	日常生活の中でのしぐさから本人本位の暮らし方の希望や把握に関する記録の追記がない	フェイスシートの閲覧や日常生活でのしぐさや発言に注意を払い、職員間で共有されケアに反映されているが、記録への追記が少ないので記録の追記を十分にする	①フェイスシートの充実化	12ヶ月
6	33	重度化や終末期に際しては、状態に応じて常に話し合っ家族の理解、同意、協力を得て、納得の行く終末や見取りとなるように取り組む	家族への説明を行い、同意を得て、往診や訪問看護等と連携した上で家族が納得する看取りが出来たので、今後も続けるようにする	①対応の継続と改善点があれば強化する	12ヶ月
7	35	消防署の協力を得た訓練や夜間を想定した自主訓練を年1回行っているが、訓練に民生委員や地区長等近隣からの参加がない	参加を依頼しているが諸事情により参加が得られない時が多い 事業所からは地区防災訓練に参加しているので、日頃からの連携を強化する	①声掛けの強化 ②催事など会以外の時でも参加の声掛けをする	12ヶ月